

# 市政に対する

# 一般質問

## 9名の議員が質問

12月定例会の一般質問は、12月17日・18日の2日間にわたり行われました。

質問の要旨は次のとおりです。

**山田 裕一**

風間市政2期目を迎え、重点施策の具体的戦略について伺う他

**制野 敬一**

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの成果と今後の観光事業の展開について

**吉田 貞子**

学校給食について 他

**沼倉 啓介**

地域医療確立の具体的手順について

**大野 栄光**

小中学生の携帯電話の利用について

**管野 恭子**

医学生修学資金貸付制度の創設について他

**水落 孝子**

原油価格高騰等の影響による対応策について

**沼倉 昭仁**

中小企業振興策について 他

**佐久間 儀郎**

自殺予防、『多重債務相談・救済支援』について 他

※答弁について、公立刈田総合病院を「刈田病院」と表記しております。

### 風間市政2期目を迎え、重点施策の具体的戦略について伺う 山田 裕一

〔質問〕本定例会初日の本会議で、市長就任2期目の最重要課題として、刈田病院を中心とした地域医療体制の確立、工業団地の造成と企業誘致を掲げられた。

これらの課題は、日本全国の自治体でも掲げている課題と思われるが、「共汗」「共学」「共生」を理念として「市

民と行政のパートナーシップ

によるくらし日本一のまちづくり」を目指している本市が他の自治体に勝るために、具体的にはどのような戦略を考

ておられるのか、市長の所見を伺いたい。

○その他の質問

本市スクールバスの管理体制について 他

〔答弁〕〔市長〕地域医療の

確立については、平成21年1月末を目標として策定を進めている病院改革プランにおいて、経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直しの3項目を検討しており、策定後に病院議会に報告することとなっている。特に、経営の効率化に係る収支計画においては、医師の確保が大きなウェイトを占めることから、医師の招聘に正副管理者と院長が一丸となって積極的に東北大学病院等をはじめとす

る関係機関に働きかけて行くという意思確認をしている。

また、刈田病院は市民の命を守る砦として強力な支援を続けることが何よりも必要なことだと思っている。

一方、地域医療を守るためには地元の医師との連携が欠かせないことから、白石医師会、刈田病院、市議会、そして市で構成する地域医療対策懇談会を設立している。今後

においても、病診連携に向けて綿密な調整を図ってまいりたい。

工業団地の造成と企業誘致

については、世界経済の悪化から厳しい環境にあるが、団地の完成に2年を要するところから、来るべきときに備えていくことが求められている。また、今回の機構改革により、市内企業へのサポート体制の充実を図ることとあわせ、積極的な企業誘致に向けた企業立地推進室を創設し、政策実現に取り組みもうとしているところである。